

# 平成27事業年度事業報告書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

## 1. 事業活動

### (1) 公益目的事業

本事業については、研究開発助成等として11件19,174千円(表Ⅰ)、海外に対する普及協力及び国際交流等助成として3件3,604千円(表Ⅱ)、放送大学の学生に対する助成として19,222千円(表Ⅲ)、合計で前年度と同額の42,000千円の助成を実施した。

(単位:千円)

助成項目	平成27年度	平成26年度	対前年度比
研究開発助成等(表Ⅰ)	19,174	20,060	△ 886
海外に対する普及協力及び国際交流等助成(表Ⅱ)	3,604	3,740	△ 136
放送大学の学生に対する助成(表Ⅲ)	19,222	18,200	1,022
合計	42,000	42,000	0

表Ⅰ 研究開発助成等

研究開発事業名	申請代表者	所属大学・職名
放送大学の情報アクセスビリティの向上及び学習支援の充実等について	來生 新	放送大学 副学長
放送大学印刷教材等の教材アーカイブ化とアーカイブの大学院教育への応用(3-2)	坂井 素思	放送大学 教授
放送大学型アクティブ・ラーニングのための教材開発(3-2)	秋光 淳生	放送大学 准教授
遠隔教授学習過程の記述:放送大学オンライン授業を対象に(3-2)	高橋 秀明	放送大学 准教授
心理学実験の面接授業に関する授業担当者支援サイトの構築	森 津太子	放送大学 教授
反転授業方式による看護・保健系大学院生のための統計解析学習プログラム構築の試み(2-1)	戸ヶ里 泰典	放送大学 准教授
放送大学オンライン科目の携帯端末視聴システムに関する研究(3-1)	鈴木 一史	放送大学 准教授
複数教員によるピアノ実技の指導内容に基づくピアノ技能のオンライン学習教材の開発	辻 靖彦	放送大学 准教授
情報系教育におけるプログラミングドリル教材支援システムの開発と教育手法に関する研究(3-1)	館 宣伸	金沢工業大学 基礎教育部基礎実技教育課程 情報基礎教育研究センター 講師
通信教育における、建築設計分野に特化した教育テキスト作成及び、学習の双方向性を踏まえた実証的調査研究-その2(2-2)	松本 篤	愛知産業大学 通信教育部造形学部建築学科 教授
キャリア教育のための暗黙知教材の開発(3-2)	西村 美東士	聖徳大学 文学部・文学科・ キャリアコミュニケーションコース 教授

表Ⅱ 海外に対する普及協力及び国際交流等助成

事業名	申請代表者名	所属大学・職名
放送大学のODL(公開遠隔学習)経験移転を軸にしたブータン王立大学シェルブツェ・カレッジとの国際交流プロジェクト(3-3)	河合 明宣	放送大学 教授
チベット・内モンゴル地域における遠隔教育に関する実証研究－放送大学との交流と連携可能性について－(2-2)	苑 復傑	放送大学 教授
遊牧社会における遠隔教育の試行と研究－モンゴルを中心に(2-1)	稲村 哲也	放送大学 教授

表Ⅲ 放送大学の学生に対する助成

① 学生団体活動への助成 (サークル情報誌、活動連絡等に係る経費の一部補助)
② 学生研修旅行への助成 (研修旅行に係るバス借上費等に係る経費の一部補助)
③ 放送大学同窓会連合会等が行う学生支援事業に対する助成 (学生相談会等の学生支援事業に係る経費の一部補助)
④ パソコン未習熟学生のためのパソコンスキル向上支援 (特別枠)

(2) 印刷教材出版・頒布事業

本事業については、平成28年度新刊本(62科目)123千部、既刊本307千部、合計430千部を出版・頒布した。学園への納入部数は、学部326千部、大学院15千部の合計340千部で対前年度32千部の増加、市販部数は学部80千部、大学院9千部の合計89千部で対前年度7千部増加した。この結果、合計では、対前年度40千部増加の430千部となった。

(単位:部)

区 分	内 訳	平成27年度	平成26年度	対前年度比
放送大学学園納入部数	学部	325,830	288,571	37,259
	大学院	14,650	19,727	△ 5,077
	計	340,480	308,298	32,182
市販部数	学部	80,035	73,353	6,682
	大学院	9,289	8,620	669
	計	89,324	81,973	7,351
合 計		429,804	390,271	39,533

### (3) 放送教材複製・頒布事業

本事業については、授業科目について、新刊(12科目)1,230枚、既刊555枚の計1,785枚、特別講義について、新刊(1タイトル)6枚、既刊25枚の計31枚、合計1,816枚を複製・頒布した。授業科目の新刊頒布が減少(1,650枚)したことから、放送教材の複製頒布数は、対前年度比1,663枚の減少となった。

(単位:枚)

区 分	内 訳	平成27年度	平成26年度	対前年度比
放送教材	授業科目	1,785	3,420	△ 1,635
	特別講義	31	59	△ 28
	計	1,816	3,479	△ 1,663

## 2. 事業活動収支状況

### (1) 印刷教材出版・頒布事業

本事業による収益は、放送大学への納入部数及び市販部数の増加により対前年度71,973千円増の617,669千円となった。

一方印刷教材作成費は、対前年度21,659千円増の265,613千円となり、この結果収支は、対前年度50,313千円増の352,056千円となった。

(単位:千円)

区 分	平成27年度	平成26年度	対前年度比
印刷教材出版・頒布事業収益	617,669	545,696	71,973
印刷教材作成費	265,613	243,954	21,659
収 支 ①	352,056	301,743	50,313

### (2) 放送教材複製・頒布事業

本事業による収益は、新刊の授業科目の頒布が半減したことにより、対前年度16,408千円減の18,855千円となった。

一方放送教材作成費は、頒布数量の減少に伴い、対前年度13,343千円減の12,302千円となり、この結果収支は、対前年度3,065千円減の6,553千円となった。

(単位:千円)

区 分	平成27年度	平成26年度	対前年度比
放送教材複製・頒布収益	18,855	35,263	△ 16,408
放送教材作成費	12,302	25,645	△ 13,343
収 支 ②	6,553	9,618	△ 3,065

(3) 資産運用等

基本財産・特定資産(放送教育振興基金)及びその他の投資有価証券の資金運用等により、対前年度18,076千円増の66,167千円となった。

(単位:千円)

区 分	平成27年度	平成26年度	対前年度比
資産運用収益	63,894	46,559	17,335
その他雑収益等	2,273	1,532	741
計 ③	66,167	48,091	18,076

(4) 助成事業・管理費等

助成事業は、前年度と同額。事業管理費支出については、人件費等の増加により対前年度18,140千円増の291,962千円、管理費支出については、対前年度19千円減の37,820千円となり、これらの支出の合計は、対前年度18,122千円増の371,782千円となった。

(単位:千円)

区 分	平成27年度	平成26年度	対前年度比
助成事業支出	42,000	42,000	0
事業管理費支出	291,962	273,822	18,140
管理費支出	37,820	37,839	△ 19
支出計 ④	371,782	353,660	18,122

(5) 収支の状況

以上の結果、印刷教材出版・頒布事業及び資金運用収益の収入増により当期経常増減額は、対前年度47,202千円増の52,994千円となり、法人税等18,357千円を納付した。

一方、為替相場の変動により保有有価証券の時価評価損益が、△39,620千円となった結果、当期一般正味財産が△4,988千円となった。

(単位:千円)

区 分	平成27年度	平成26年度	対前年度比
事業収支合計 ⑤(①+②+③)	424,776	359,452	65,324
助成事業・管理費等支出合計 (④)	371,782	353,660	18,122
当期経常増減額 ⑥(⑤-④)	52,994	5,792	47,202
投資有価証券評価損益等 ⑦	△ 39,620	70,780	△ 110,400
固定資産除却損⑧	5	0	5
法人税等 ⑨	18,357	1,847	16,510
当期一般正味財産増減額 (⑥+⑦-⑧-⑨)	△ 4,988	74,725	△ 79,713

### 3. 正味財産期末残高

上記の結果、平成27年度の正味財産期末残高は、対前年度4,988千円減の2,839,017千円となった。

(単位:千円)

区 分	平成27年度	平成26年度	対前年度比
正味財産当年度末残高	2,839,017	2,844,005	△ 4,988

### 4. 附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」については、平成27事業年度事業報告では該当の事項はない。

(注)

- 1 消費税は、税抜き表示。
- 2 表の計数は、それぞれ四捨五入によっているため、端数において合計と合致しないものがある。